

LANdeVOICEのパラメータとその対応機種について

LANdeVOICE全機種での共通パラメータを除いた特殊パラメータについての説明

netcnfg.iniファイルもしくはconfigコマンドで設定可能なパラメータ

パラメータ	値	説明	PA01	PB01	OD01	PT01	SP01	対応Ver
LINE	OFFもしくは 1~9,#,*	PA01専用。OFFまたは0では常時回線引込みモード。 その他は回線選択引込みモード。最初の選択信号がLINEパラメータで設定された デジットと一致した時に回線を引き込みます。		-	-	-	-	
LCR	ON/OFF	PA01でかつLINEパラメータが回線選択引込みモードであった場合に有効。 電話番号テーブルと一致した時に回線を引込んでネットワーク経由で発信		-	-	-	-	
DID	ON/OFF	ネットワークよりの着信時に端末応答時に電話網の選択信号を 自動的に送出する簡易DID機能を有効にするかしないかの指定			(常にON)	(常にON)	-	
RBT	ON/OFF	リングバックトーンのタイミングパターン。ONで特殊、OFFでNTTと同様						
RVS_BT	ON/OFF	終話時に転極パルスを発生させるかどうかの指定 (PA01は終話時の転極パルスの出力可能ですが転極パルスの給電電流能力などに制限事項が あります。転極が必要な場合はPB01をご利用ください。)	()		-	-	-	
RVS_CON	ON/OFF	発信の通話時にラインの極性を反転させるかどうかの指定	-		-	-	-	
PROXYCALL	ON/OFF	#192#168#1#100などIPアドレスを直接指定して電話をする場合に SERVER(CP04)経由で発呼を行なうか直接行なうかの指定ができるようになった。 LdvがローカルにCP04がバリアセグメントにある場合にはON それ以外ではOFFとし て設定する。CP04との間のネットワーク障害などでもIPアドレス直接発行のみはで きるようにする為の対策。 SERVERの設定がない場合にはdon't careとなる。					()	3.3.7 - c

syscnfg.iniファイルで設定可能なパラメータ

パラメータ	値	説明	PA01	PB01	OD01	PT01	SP01	対応Ver
DELIM	ON/OFF	発信時の選択信号入力で#をデリミタ文字(入力の終了)として扱うかどうかの設 定。 デフォルトはON、すなわちデリミタとして扱う。ただし電話番号が#から始まる場合					()	
RVS_PW	整数 (単位mSec)	転極パルス幅(4ミリ秒の倍数で指定、デフォルト値は750ミリ秒)	()		-	-	-	
DIDPAUSE	整数 (単位mSec)	簡易DIDモードで電話回線の接続相手が応答してから選択信号 を送出開始するまでの時間。応答とはPA01/PB01 相手端末OFF HOOK、 OD01:WINK Pulse 受信、PT01:CPT受信	(デフォルト 500mSec)	(デフォルト 200mSec)	(デフォルト 200mSec)	-	-	
WINKTO	整数 (単位Sec)	OD01専用。PBXからWINK信号が来なかった時に選択信号を出し始める までのタイムアウト時間。(デフォルト値 3秒)	-	-		-	-	
WINKPW	整数 (単位mSec)	OD01専用。PBXへ出すWINK信号のパルス幅(デフォルト値200mSec)	-	-		-	-	
DTTO	整数 (単位mSec)	PT01専用。発信時に電話網からダイヤルトーンが来なかった時に選択信号 を出し始めるまでのタイムアウト時間。(デフォルト値 3秒) (PT01の場合「着信自動転送モード」では無効)	-	-	-		-	

DT	f1 f2 v1 v2	LANdeVOICEより発生させるダイヤルトーンの音色調整 f1,f2は周波数、v1,v2はボリューム値。 例：DT 350 440 -18 -18 で米国仕様のダイヤルトーン							
RING	f1 f2 v1 v2 又は f1 f2 v1 v2 ont offt	LANdeVOICEより発生させるリングバックトーンの音色調整 例：RING 440 480 -18 -18 1000 3000 で米国仕様							
BT	f1 f2 v1 v2	LANdeVOICEより発生させるビジートーンの音色調整 例：BT 480 620 -6 -6 で米国仕様							
RCTTONE	数字	選択信号受付を示す出力トーンの種別。 0 無音、1：ダイヤルトーン、2：セカンドダイヤルトーン（400Hzのツツツツ音） （PT01の場合「着信自動転送モード」では無効）	-	-	(デフォルト 1 DT)	(デフォルト 2 SDT)	-		
CTRING	整数	PT01専用。電話網からの呼び出し（RING）に対する応答回数 -1：着信禁止、0：即応答、1以上RINGの鳴った回数（デフォルト2回）	-	-	-		-		
DEBTCT	整数	PT01専用。BT音だと判断する回数。BTと判断すると切断となる。 0：BT検出禁止、1以上連続BTのパターンと認識する回数（デフォルト5回）	-	-	-		-		
DHCPSTS	数値	CPサーバーへのSTATUSREQ送出インターバル時間の設定。 ダイヤルアップ回線では通知禁止に設定する必要あり。 （デフォルト値：1時間、設定可能最大値：91時間） -1：通知禁止、0：DHCP取得時のみ通知、1以上：分							3.3.5-b
RTRANSIP	Pアドレス	PT01「着信自動転送モード」での転送先Pアドレス このモードはアナログ回線からのRING信号に対しON HOOKのまま予め このパラメータで指定された先にSETUPを送信し相手が着信してから 始めてOFF HOOKする機能。アナログ回線の中抜き用。 このモードをOFFにするには設定しないか255.255.255.255とする SP01(Ver 3.3.7-c) 起動自動接続モード」追加。システム立ち上げと同時に予め このパラメータで設定された先にSETUPを送信する機能。SETUPのリトライはしな	-	-	-				3.3.7-c
RTRANSCCH	数値	PT01「着信自動転送モード」、SP01(Ver 3.3.7-c) 起動自動接続モード」 での転送先CCHポートアドレス RTRANSIPが設定されている時のみ有効 デフォルトは4 4 4 5	-	-	-				3.3.7-a
RTRANSdT	ダイヤル文字列	PT01「着信自動転送モード」、SP01(Ver 3.3.7-c) 起動自動接続モード」 で転送先LdVに渡すダイヤル内容 RTRANSIPが設定されている時のみ有効	-	-	-				3.3.7-a
DIALSELECT	数字1文字	PT01 回線送出選択信号種別 デフォルトはPB信号 1:DP10pps 2:DP20pps	-	-	-			-	3.3.7-a

CALLCONN	ON/OFF	<p>発信処理においてNETWORK接続先相手がOD01やPT01の場合その先のPBXなり公衆網に選択信号を出力した時点で発信側のLdVの端末を転極などの信号変化で通話状態にするか (CALLCONN ON)着信端末がOFF HOOKしてから通話状態にするかの設定</p> <p>Ver 3.3.6以前はこの設定がなく常にCALLCONN ONの状態であったがVer 3.3.7以降これを改善した。従来の動作との互換性などによりこのパラメータを追加した。</p> <p>発信側の通話状態を示す信号はPB01では転極、OD01ではESIG ON、PT01では「着信自動転送モード」のみ有効でOFF HOOKする。</p>	-				-	3.3.7- c
----------	--------	-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	---	--	--	--	---	----------